

2022 年 6 月 15 日

11 月祭事務局

第 64 回京都大学 11 月祭全学実行委員会への提案

1. 議事（案）

- (1) 「第 64 回 11 月祭の日程変更の提案」の内容訂正とお詫び
- (2) 声明文について
- (3) 7 月の企画登録会において、対面の一般企画に関して京大生先行登録とすることの提案

2. 「第 64 回 11 月祭の日程変更の提案」の内容訂正とお詫び (別紙 1、2 参照)

[別紙 1 の補足]

・発覚の経緯

5 月 25 日(水)に、当時の担当者と会話していたところ、大学から確認があったことが発覚した。また、翌日(5 月 26 日(木))に課外活動掛に確認したところ、たしかに当時の担当者に確認をしていたという回答を得た。

・大学側から日程変更の確認が取られた時期

当時の担当者によると、昨年(2021 年)の 3 月から 4 月頃とのことである。

・大学からの確認とは、どのようなものであったか

大学から、「全学実行委員会が要望した日程とは異なる日程を採用することになったが大丈夫か」という確認を受けた。当時の担当者は、4 日間開催が保たれていること、協議をしても変更される可能性がかなり低いと判断したため、またこの問題への認識が甘かったため、協議は行わなかった。

また、本件を受けて大学に「協議をしていればこちらの日程の要望が通った可能性はあるか」と尋ねたところ、可能性はきわめて低かったとの回答を得た。

3. 声明文について (別紙 3 参照)

4. 7月の企画登録会において、対面の一般企画に関して京大生先行登録とすることの提案

4.1.経緯

新型コロナウイルスの感染状況は現在減少傾向にあるものの、動向は日々変化しておりまだ先の見えない状況である。早期から学外者を含めた企画登録を行い、感染状況が悪化し、一般企画構成員を京大生のみにするようになった場合、突然参加できなくなってしまう一般企画構成員は多大な迷惑を被ってしまう。ここで学外者と京大生で区別しているのは、11月祭が京大生による学園祭であることをふまえ、京大生を優先したいと考えているためである。なお、ショップ企画等、Web サイトを用いて行う企画に関しては、学外者も参加できる。

4.2.提案

以上の点を踏まえ、一般企画構成員の範囲に関する判断を9月時点まで遅らせ、あくまでも暫定的な措置として、7月の企画登録会において、対面の一般企画に関して京大生先行登録とすることを提案する。